

JR東海労ニュース

9条堅持!



山岡けんじ

No.1861

2013年7月18日

JR東海労働組合

新幹線浜名湖の鉄橋に津波を警告する学者! JR東海は災害対策を見直せ!

乗客の命を第一に、運行優先の姿勢を改めよ!

2011年3月11日の東日本大震災発生時、太平洋沿岸に大津波警報が発せられたにもかかわらず、会社は海面からわずか数mに位置する浜名湖の鉄橋を安全と判断して、新幹線の運行を強行しました。幸い津波は到達しませんでしたでしたが、最悪の場合、何千名の命が失われたかもしれません。本部は、これを問題にして会社に申し入れましたが、会社は「運行指示の判断は間違っていない。ハザードマップに則っている。津波警報が出ていても安全が確保されれば新幹線の運行を行う」と傲慢な姿勢を示しました。

7月16日付『静岡新聞』によると、東海道新幹線の浜名湖の鉄橋が津波で浸水する危険性を警告している学者がいます。JR東海は、この学者の意見を聞くことなく、変更する気はないという見解を示しています。

果たしてそれで良いのでしょうか? JR発足以来、JR東海は安全より営利優先の体質は何ら変わっていません。リニアも同様です。活断層で地殻変動があってもリニアは大丈夫、という姿勢と全く同じです。

JR東海労は、会社に傲慢な姿勢を改めさせ、地震・津波対策の見直しを求めます。

東海道新幹線 新幹線 浜名湖 浜名大橋 今切口 遠州灘

東海道本線 国道1号浜名バイパス

東海道新幹線や東海道本線 国道1号などの東西軸が湖上を横断する浜名湖

11月25日 本社ヘリジェリコ1号から

浜名湖上「大動脈」津波想定に疑念

新幹線「浸水の危険」

歴史学者警鐘

津波が到達した可能性を示した東京大地震研 究所の調査結果が、想定に反映されていないことに反映されている。現在、現時点で大きな変更を迫られることなど、問題視。現 在はなごうだ」と見通 する。

県の岩田孝仁危機管 理監理は「4次想定 だ」と話している。

4次想定は、発生は、1995年の阪神 頻度が高い。大震災以降、盛り土や ベル工の津波で、湖 高架橋の補強など地震 西市に到達する津波高 津波対策に約320 をかけた。武土0億円の巨費を費やし の家計簿の著者としてきたことを説明す る。広報担当者は「考 えても知られる磯田氏の。1707年の宝永 地震で湖西市に9回のやっつけられている。4次想

浜名湖上を通過する JR東海道新幹線をめ ぐり、津波に対する安 全性を不安視する声が 出ている。浜名湖の上 を渡る線路は弁天島周 辺で海抜約6m。県の 第4次地震被害想定 が押し寄せる。今切口 (1次報告)で弁天島 から弁天島の線路まで 周辺は最悪でも3.5m は約1.5m。磯田氏 は「10m超の津波が湖 は線路が水につかるこ とはないが、古文書な どから過去の地震被害 を研究している歴史学 者の磯田道史静岡文化 芸術大准教授は「日本 者も一緒に考え、困 の大動脈が最も弱点を 働き掛けている必要 性を訴えた。

これに対しJR東海 4次想定では、発生 頻度が高い。大震災以降、盛り土や ベル工の津波で、湖 高架橋の補強など地震 西市に到達する津波高 津波対策に約320 をかけた。武土0億円の巨費を費やし の家計簿の著者としてきたことを説明す る。広報担当者は「考 えても知られる磯田氏の。1707年の宝永 地震で湖西市に9回のやっつけられている。4次想